



国立大学法人 千葉大学  
National University Corporation  
Chiba University

## ニュースリリース

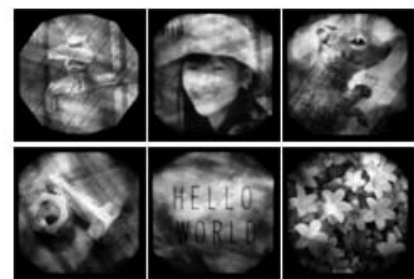
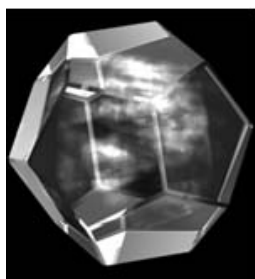
平成25年 6月 5日  
千葉大学大学院工学研究科

複数の2次元情報を保持する立体を作製するアルゴリズムを開発

千葉大学（学長：齋藤康）大学院工学研究科伊藤智義教授，中山弘敬研究員と木更津工業高等専門学校（校長：工藤敏夫）白木厚司講師を中心とする研究グループは，複数の2次元情報を一つの立体に内包する新しい技術の開発に成功した．図は，正12面体のガラス（左）の内部に，6枚の画像（中央）を本アルゴリズムで記録した例である．正12面体の6軸の投影面には，図（右）のように，それぞれ異なった記録画像を観察することができる．記録する2次元情報の数には制限がなく，新しいデジタルサイネージの開発につながるものと期待され，カラー化や動画（映像）化の応用研究にも着手している．また，記録軸以外からは意味のある情報を見て取ることができないという特長があり，認証システムなどへの応用も期待されている．

本研究成果は，ネイチャー・パブリッシング・グループのオープンアクセスジャーナルである Scientific Reports に掲載された．

<http://www.nature.com/srep/index.html>



本件に関するお問い合わせ先  
千葉大学工学研究科 伊藤智義  
Tel : 043-290-3550 Fax : 043-290-3550  
E-mail : itot@faculty.chiba-u.jp